



アンリ・マチス

— 二つの窓をめぐる物語 —



ピカソと並び 20世紀を代表するフランスの画家、アンリ・マチス。彼が作品に窓というモチーフを頻りに描いたことはよく知られています。窓を題材にしたマチスの二つの作品を取り上げ、20世紀の美術史にとどまらず、美術作品を鑑賞することや美術とのつきあい方といったテーマについて考えます。美術は、生活や人生にどのような変化や豊かさをもたらしてくれるのか。そうした問いに、マチスの窓は新たな視界を開いてくれるかもしれません。

日時

2018年6月12日 火
13:20~14:50

会場

名古屋外国語大学701教室

講師

森 美樹氏

フランス語学科卒業生 愛知県美術館 主任学芸員

対象

フランス語学科生、名古屋外国語大学生、教員、大学院生、留学生、名古屋学芸大学生、一般市民

主催

名古屋外国語大学フランス語学科

共催

創立30周年記念事業委員会
ワールドリベラルアーツセンター

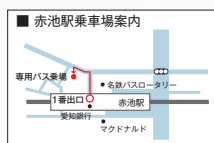
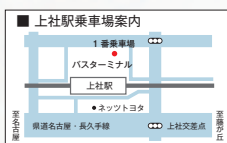
講師略歴

名古屋外国語大学フランス語学科卒業（1997年）、パリ第4大学 DEA（美術史）課程修了（2001年）、名古屋大学文学研究科博士前期課程修了（2002年）。島根県立美術館勤務を経て、2004年より愛知県美術館学芸員。現在、同館主任学芸員。「ロートレック展」（2007-2008年）、「デュフィ展」（2014年）、「ゴッホとゴーギャン展」（2016-2017年）等を企画。マチスやデュフィに関する論文。訳書（共訳）にジェイムズ・クノー編『美術館は誰のものか』（ブリュッケ、2008年）。

■本学へのアクセスについて■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

電話での本学へのお問い合わせ

名古屋外国語大学 0561-74-1111 (代)
470-0197愛知県日進市岩崎町竹ノ山57



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。

申込不要

参加無料

使用言語：日本語